



白板症

癌になる確率の高い病気、放置すると舌癌、歯肉癌、頬粘膜癌などさまざまな癌になることがある病気

白板症とは

癌になる確率の高い病気には白板症のほか、粘膜が赤くなる紅板症があります。白板症に比較すると紅板症はまれです。すべてが癌になるわけではありませんが、白板症は癌になる確率が4～17%、紅板症の癌になる確率は40～50%と報告されています。発症の原因は持続的な歯肉や粘膜への刺激の他、喫煙、アルコール、刺激のある食品の摂りすぎ、全身的には貧血、ビタミンA、Bの欠乏、高脂血症、糖尿病などがあります。治療は歯肉や粘膜への刺激を除去したり、その部位を切除する方法がとられます。

○ぬぐってもとれない 白い斑があらわれる白板症

舌に見える白い斑はぬぐっても取れません。放っておくと癌になる可能性があります。

○口の中の火傷のように 見える紅板症

赤くただれ火傷のように見えますが癌になる確率の高い病気です。

前癌病変は
危ないどすえ～！

日頃から注意すること

口の中に歯の尖った部分や合わない冠がある場合は放置しないこと、喫煙や糖尿病などの礎疾患も関係が深いので生活習慣にも留意することが大切です。



お雛様になっ
てみたよー

